

令和4年度

3年

普通科

シラバス

園芸高等学校

国語

3年現代文B_R4 シラバス.....1

数学

3年数学A_R44

3年数学Ⅱ_R4.....7

理科

3年化学_R4 シラバス.....10

3年化学基礎_R4 シラバス.....14

3年物理基礎_R4 シラバス.....19

3年生物_R4 シラバス.....27

3年生物基礎_R4 シラバス.....31

英語

学設_3年実用英語_R4 シラバス.....38

学設_3年英語演習_R4 シラバス.....39

学設_3年英語総合_R4 シラバス.....40

保健体育

3年女子体育_R4.....42

3年男子体育_R4.....45

芸術

3年工芸Ⅰ_R4 シラバス.....48

3年書道Ⅰ_R4 シラバス.....51

3年美術Ⅱ_R4 シラバス.....55

3年音楽Ⅰ_R4 シラバス.....59

家庭

3年フードデザイン_R4 シラバス62

3年服飾手芸_R4 シラバス.....67

令和4年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2	年次	3
使用教科書	新編現代文B (数研出版)						
副教材等	必携国語総合セミナー (浜島書店編集部)						

1 担当者からのメッセージ

- ・卒業後に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
- ・様々な文章に触れ、「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
- ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解することができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・様々な文章や考えに触れ、広い視野を養う。
- ・漢字や語句の意味等国語における基本事項を習得する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ワークシート等)	行動の観察 (発問に対する解答等)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙) 定期考査	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	【近代以降】 教材: 「伝える極意」	○			◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	小説1	【近代以降】 教材: 「山月記」 精読後、原稿用紙の使い方を学び、読書感想文を書き、読み合う。	○	○	○	◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b: 行動の観察及び記述の点検 c: 記述の点検と確認及び分析定期考査 d、e: 記述の確認及び定期考査
2学期	詩歌	【近代以降】 (代表的な俳句の作品、詩を鑑賞し、俳句作成を行う) 教材: 「ホンモノのおカネの作り方」 「永訣の朝」	○			◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

3年現代文 B_R4 シラバス

	評論1	【近代以降】 教材: 「ひよこの眼」 「胆力について」	○	○		◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 d: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
3学期		教材: 副教材「パスポート 国語必携」	○				◎	a: 言語文化に対する関心を深め、知識や技能の向上を図ろうとしている。 e: 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	a: 行動の観察及び記述の点検 e: 記述の確認及び定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

令和4年度 数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂版 最新 数学 A (数研出版)						
副教材等	改訂版 3 ROUND 数学 A (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法)

・授業では課題に対してまず自ら考え、次に周りとは協力して考える協働的な活動を行います。
 ・問題集は定期考査ごとに提出してもらいます。日頃から少しずつでも進めて、定着に努めましょう。また、授業用ノートも提出してもらいます。板書を写すだけでなく、自分の考えや周りの考えも記録しましょう。

2 学習の到達目標

場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について、基礎的な知識を習得する。
 また、事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識するとともに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質に関心を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	質問・疑問シート 確認テスト ノート 観察等	確認テスト 定期テスト ノート 観察等	確認テスト 定期テスト ノート 観察等	確認テスト 定期テスト ノート 質問・疑問シート 観察等

3年現代文 B_R4 シラバス

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	場合の数と確率	集合			○	○	a: 具体的な事象に対して、順列や組合せを用いて確率を求めようとしている。 b: 問題の意味を正しく読み取り、順列を求める問題なのか、組合せを求める問題なのか判断することができる。また、確率の性質を目的に応じて選択することができる。 c: 式を用いて事象を表現し、見通しをもって計算することができる。 d: 複雑な順列や組合せ、確率の性質がより基本的で簡単な公式や性質に帰着できることを理解している。	確認テスト ノート 定期テスト 観察
		順列		○	○	○		
		組合せ		○	○	○		
		確率	○	○	○	○		
2学期	図形の性質	三角形についての諸定理	○	○	○	○	a: 定理を用いて角度や辺の長さを求めようとしている。 b: 求めたい数量に応じて用いるべき定理を正しく考察できている。 c: 正しい公式を用いて式を立て、式を目的に応じて変形できている。 d: 複雑な図形でも、補助線を引くなどの手段でより簡単に求めることができると理解している。	
		円についての諸定理	○	○	○	○		
		空間図形	○			○		

3年現代文 B_R4 シラバス

	整数の性質	約数と倍数・ユークリッドの互除法	○		○	○	a:約数と倍数に関心を持ち、具体的な事象の考察に活用しようとしている。	確認テスト ノート 定期テスト 観察
3学期		不定方程式	○	○	○	○	b:不定方程式について約数や倍数の性質を用いて考察できる。	
			○	○	○	○	c:約数と倍数の定義を理解し求めることができ、また、不定方程式の解を求めることが出来る。 d:整数の性質について体系的に理解している。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和3年度 数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂版 新 高校の数学Ⅱ (数研出版)						
副教材等	教科書学習ノート 数学Ⅱ (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・授業では課題に対してまず自ら考え、次に周りとは協力して考えていく活動を行います。
 ・プリントごとに確認テストを行い、定着の程度を計ります。
 ・問題集は定期考査ごとに提出してもらいます。日頃から少しずつでも進めて、定着に努めましょう。
 ・プリントは授業ごとに提出してもらいます。板書だけでなく、自分の考えや周りの人の考えも積極的に記録しましょう。

2 学習の到達目標

いろいろな式、図形と方程式、微分の考えについて習得する。
 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	いろいろな式、図形と方程式、微分の考え方に興味を持つとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、いろいろな式、図形と方程式、微分における数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、微分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、微分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	プリント 確認テスト 観察等	確認テスト 定期テスト プリント 観察等	確認テスト 定期テスト プリント 観察等	確認テスト 定期テスト プリント 観察等

3年現代文 B_R4 シラバス

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	複素数と方程式	複素数と2次方程式	○	○	○		a: 数直線や座標平面上に事象を対応させることによって、課題を解決しようとしている。 b: 直線の方程式について、意味を考察することができる。また、事象に対してどの定理を用いればよいのか考察できる。 c: 見通しをもって式を扱うことができる。複素数が含まれている二次方程式や、高次方程式を解くことができる。 d: 乗法公式や因数分解の公式、剰余の定理や因数定理を理解している。	確認テスト 定期テスト プリント 観察等
		因数定理・高次方程式		○	○	○		
	図形と方程式	点と直線	○		○			
		直線の方程式		○	○	○		
2学期	図形と方程式	円の方程式		○	○	○	a: 指数や対数の有用性を理解し、課題を解決しようとしている。 b: 指数関数・対数関数を用いて課題を解決しようとし、またそのために最適な性質を考察することができる。 c: 円の方程式を求めることができる。また、内分点・外分	
		不等式と領域	○	○	○	○		
	指数関数・	指数関数	○	○	○	○		

3年現代文 B_R4 シラバス

		対数関数	○	○	○	○	<p>点の座標を求めることができる。</p> <p>d:直線の方程式と円の方程式の意味を理解している。座標平面における直線や円の扱い方に関して、基礎的な知識が身につけている。</p>
3 学期	微分と積分	微分係数と導関数	○	○	○	○	<p>a:微分によって求まる関数に興味を持ち、関数の値の変化に活用しようとしている。</p> <p>b:導関数を用いて複雑な関数について考察できる。</p> <p>c:微分を行うことで3次関数などのグラフをかくことができる。</p> <p>d:具体的な事象についての応用法を理解している。</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:数学的な見方や考え方
 c:数学的な技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和4年度 理科

教科	理科	科目	化学	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新編 化学 (数研出版)						
副教材等	改訂 新編 化学 ニューサポート (東京書籍)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「化学基礎」で学習した内容を踏まえて、化学の基本的な概念や原理・法則について、実験や観察を通じて、科学的に考える・探求する力を身につけることを目標としています。

体系的な知識や理解を深めるため、積極的な授業参加と復習する習慣をつけましょう。

2 学習の到達目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察, 実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに科学的態度を身につけている。	自然界や産業界にある化学的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

3年現代文 B_R4 シラバス

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	電池と電気分解	電池	○	○	○	○	a:身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。 電気分解の原理と具体的な水溶液の電気分解について興味を示す。 b:電池の原理をもとに、実用電池のしくみと反応について考察できる。 金属のイオン化傾向やファラデーの法則をもとに、電気分解を考察できる。	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
		電気分解	○	○	○	○	c:ダニエル電池をつくり、変化の観察を通じて、両極における反応を説明できる。 色々な水溶液の電気分解を行い、各電極における反応を観察し、説明できる。 d:鉛蓄電池や燃料電池などの構造や反応について、基本的な知識を身に付けている。 電気分解の原理と金属のイオン化傾向、ファラデーの法則について理解し、量的関係の考察を通じて、基本的な知識を身に付けている。	
	化学反応の速さとしくみ	化学反応の速さ	○			○	a:化学反応の速さに興味を持ち、化学反応の速さを決める条件について調べようとする。 b:化学反応の速さを決める条件について考察できる。	
		反応条件と反応速度	○	○		○	触媒の作用を含む化学反応のしくみについて、反応速度式や活性化エネルギーなどの考え方をを用いて考察できる。	
		化学反応のしくみ		○	○	○	c:触媒を用いた反応について、違いを確認することができる。 d:反応速度の表し方と、反応速度を決める条件について、基本的な知識を身に付けている。 化学反応と触媒の関係が分かる。	

化学平衡	可逆反応と化学平衡	○				<p>a: 化学平衡の状態やそのときの各成分の量的関係, 条件の変化に伴う量的変化などについて調べようとする態度が育っている。</p> <p>b: ルシャトリエの原理を用いて, 化学平衡を移動させる条件から, 平衡移動の方向を考察できる。</p> <p>水のイオン積と pH, 弱酸や弱塩基の電離平衡について, 電離定数をもとに求めることができる。</p> <p>c: 平衡移動に与える温度・圧力の影響を調べる実験を通じて, ルシャトリエの原理を検証するとともに, その結果を考察することができる。</p> <p>d: 化学平衡の状態やそのときの各成分の量的関係, 条件の変化に伴う量的変化などについて, 具体的な水溶液についてあてはめる基本的な知識を身に付けている。</p>		
	平衡状態の変化		○	○	○			
	電解質水溶液の化学平衡		○			○		
2 学期	有機化合物の分類と分析	有機化合物の特徴と分析	○	○		○	<p>a: 有機化合物の特徴について関心を持ち, その分類や構造, 反応性や分析の仕方などについて調べようとする。</p> <p>b: 有機化合物の性質や反応性において, 無機化合物とは異なる特徴があることを見いだすことができる。</p> <p>元素分析により, 組成式・分子式・構造式が決定されることについて考えることができる。</p> <p>炭化水素の構造異性体などを論理的に考察できる。</p> <p>c: 有機化合物の特徴や炭化水素に関する観察, 実験を行い, その基本的操作および記録の仕方を習得している。</p> <p>d: 有機化合物の特徴と分類, 分析についての基本的な知識を身に付けている。</p> <p>炭化水素の分類とその反応性との関係, 構造異性体の関係等を理解し, 知識を身に付けている。</p> <p>a: 酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテル, アルデヒド, ケトン, カ</p>	<p>学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査</p>
		有機化合物の分析	○	○	○			
	脂肪族炭化水素	飽和炭化水素		○		○		
		不飽和炭化水素		○	○	○		
	アルコール	アルコールとエーテル	○	○	○	○		

3年現代文B_R4 シラバス

		アルデヒドとケトン	○	○	○	○	ルボン酸, 油脂などについて、構造や性質を調べようとする。 b:官能基を含む有機化合物の性質や反応性が、その官能基に特徴付けられることを見だし、論理的に考察できる。 c:官能基を含む有機化合物に関する観察, 実験を行い、その基本的操作および記録の仕方を習得している。 d:代表的な官能基の性質に対する知識を身に付けている。	
		脂肪族カルボン酸と酸無水物	○	○	○	○		
		エステルと油脂	○	○	○	○		
3 学 期	芳香族化合物	芳香族炭化水素	○	○		○	a:芳香族化合物の性質を調べようとする。	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
		フェノール類	○	○		○	b:芳香族化合物の構造, 性質および反応について考察することができる。 芳香族化合物の性質を利用し、混合溶液の分離について考えることができる。	
		芳香族カルボン酸	○	○		○	c: サリチル酸に関する観察, 実験を行い、その基本的操作および記録の仕方を習得している。	
		芳香族アミンとアゾ化合物	○	○		○	芳香族化合物の分離に関する観察, 実験を行い、その基本的操作および記録の仕方を習得している。	
		有機化合物の分離		○	○		d:芳香族化合物の特徴についての基本的な知識を身に付けている。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
 c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和4年度 理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)						
副教材等	改訂 ニューアチーブ 化学基礎 (東京書籍)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「化学基礎」で学習する内容は化学のほんの一部ですが、「化学基礎」の学習を通じて化学の本質の一端に触れるとともに、単なる知識だけでなく、進学先および就職先で必要になる科学的思考力や・探求心を身につけることを意識して下さい。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、進学先や就職先で求められる化学的な探究する能力と態度を育てる。また、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに科学的態度を身につけている。	自然界や産業界にある化学的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

3年現代文 B_R4 シラバス

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	化学と人間生活	人間生活の中の化学	○		○	○	a:身近に利用されている物質の成りたち、構造、性質などについて興味をもつ。 c:還元による銅の生成実験ができる。 d:資源の再利用の必要性を理解し、現状や問題などについて調べてみる。 物質には適切な使用量や濃度があることを理解する。	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
	物質の探究	物質の性質と分離		○	○	○	a:原子や元素という概念に興味をもつ。 b:純物質と混合物の違いが説明できる。 同素体の違いについて説明できる。 物質を加熱・冷却したときの、温度変化をグラフに表すことができる。	
		物質の成分	○	○		○	c:混合物を純物質に分離できる。 d:混合物の分離操作をあげられる。 主な元素の元素記号が書ける。 成分元素の検出法を理解している。 絶対温度とセルシウス温度の関係を理解している。	
物質の構成粒子	原子の構造	○	○		○	a:原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づき、同じ元素でも構成が異なるものがあることに興味をもつ。 周期表上の元素の配列のしかたについて興味をもつ。 b:原子がどのような粒子から構成されているかを説明することができる。 原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいか判断できる。		

3年現代文B_R4シラバス

		電子配置と周期表	○	○	○	○	<p>周期表の中に周期律が見いだせる。</p> <p>c:イオンの電子配置を模型により示すことができる。</p> <p>d:原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。</p> <p>主なイオンのイオン式が書ける。</p> <p>イオン化エネルギーの概念と周期表上での傾向を説明できる。</p> <p>元素の周期表上の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布、および同族元素について理解している。</p>	
	粒子の結合	イオンとイオン結合	○		○	○	a:身のまわりにある物質の性質に興味をもつ。	
		金属と金属結合	○		○	○	b:価標を考えることによって分子の構造を予想することができ、極性分子と無極性分子に分類できる。	
		分子と共有結合	○	○	○	○	c:物質の特徴を示すことができる。 d:イオン結晶、分子結晶、共有結合結晶、金属の名称と組成式の組み立て方を理解している。	
2学期	物質と化学反応式	原子量・分子量と物質質量	○	○	○	○	<p>a:同じ原子でも、異なる質量をもつものがあることに興味をいだく。</p> <p>化学反応式をもとに、量的な関係をつかむことができる。</p> <p>b:質量そのものではなく、基準に対する相対質量で表すことを理解している。</p> <p>ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。</p> <p>モル質量の概念を使い、粒子数・質量と物</p>	<p>学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査</p>

3年現代文 B_R4 シラバス

	化学変化の量的関係	○	○	○	○	<p>質量に関する計算ができる。</p> <p>計算により濃度を求めることができる。</p> <p>正しい化学反応式が表せる。</p> <p>c:実際の物質の量を物質量で表せる。</p> <p>決められたモル濃度の水溶液を、調製することができる。</p> <p>化学反応式の係数から、物質の量的変化をとらえることができる。</p> <p>d:原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。</p> <p>質量パーセント濃度、モル濃度の意味を理解している。</p> <p>化学反応における、物質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。</p>
酸と塩基の反応	酸と塩基	○	○		○	<p>a:酸・塩基とは何かに関心をもつ。</p> <p>中和反応の本質は、H^+とOH^-の反応であることに気づく。</p>
	水素イオン濃度とpH		○		○	<p>b:酸と塩基を見きわめられる。</p> <p>pHから酸性、塩基性の強弱が判断できる。</p> <p>塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。</p> <p>c:中和滴定の実験により、濃度未知の酸や塩基の濃度を求めることができる。</p>
	中和反応と塩の生成	○	○	○	○	<p>塩の水溶液をつくり、pHを測定することができる。</p> <p>d:酸・塩基の価数、電離度などの考え方があることを理解している。</p> <p>中和の量的関係を数値計算により求めることができる。</p>
	中和反応の量的関係と中和滴定	○		○	○	<p>滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。</p> <p>酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類があることを理解している。</p>

3年現代文B_R4シラバス

3 学 期	酸化還元反応	酸化と還元	○	○	○	○	<p>a:酸素と化合することが酸化、酸素を失うことが還元であることに気づく。</p> <p>身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。</p> <p>b:酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことに気づく。</p> <p>酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。</p> <p>酸化還元の化学反応式から、酸化剤と還元剤の働きを読みとることができる。</p>	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
		酸化還元反応の応用	○	○	○	○	<p>金属固有の性質もイオン化傾向で考えることができるようになる。</p> <p>金属の製錬は、酸化還元反応を利用したものであることに気づく。</p> <p>c:酸化還元反応の進行を、実験を通して視覚的に判断できるようになる。</p> <p>簡単な電池をつくることができる。</p> <p>d:電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。</p> <p>酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。</p> <p>酸の酸化力の強弱と金属の反応との関係性を理解している。</p>	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号

3001

令和4年度 理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂 新編 物理基礎 (東京書籍)						
副教材等	改訂 ニューアチーブ 物理基礎 (東京書籍)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

進学先で必要な物理の基礎的な知識や原理を学んでいきます。
毎時間の授業を大切に、講義内容や実験について、常に考えて学び続けるように意識してください。また、科学的な見方や考え方を身に付けることができるよう、興味・関心を持って、積極的に授業に臨んでください。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	物理の歴史をたどりながら、その探究の方法について意欲的に探究しようとするとともに、人間生活や社会における科学的な見方や考え方を身に付けている。	生活の中の事象や自然現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現することができる。	生活の中の事象や自然現象に関する観察や実験などを行い、過程や結果を的確に記録し、科学的に探究する技能を身に付けている。	科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察実験の記録、考察、発表	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察実験の記録、考察、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

3年現代文 B_R4 シラバス

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	直線運動の世界	速さと速度	○	○	○	○	a: 物体の運動に興味をもち、物体の直線運動などを調べようとする。 b: 物体の変位や速度や加速度などを考えたり、グラフから物体の運動を考えたりすることができる。 c: 物体の運動を測定し、グラフに表すことができる。 d: 物体の変位や速度や加速度、等速運動、等加速度運動がわかる。	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
		等速直線運動		○	○	○		
		加速度		○	○	○		
		等加速度直線運動		○	○	○		
	力と運動の法則	力	○	○	○	○	a: 物体の運動に興味をもち、力の性質や力がはたらいたときの物体の運動を調べようとする。 b: 平面内の力のつり合いを考えたり、物体に働く力の合力・分力を考えたりすることができる。また、力がはたらいた物体の運動の様子から運動の三法則を確認し、グラフを作成して運動方程式を考えることができる。 c: 物体にはたらく力を表したり、合力・分力を描いたりすることができる。また、物体の質量や物体にはたらく力を変えて物体の運動を調べ、運動の様子をグラフに表すことができる。 d: 力の性質や力のつり合いを理解し、運動の三法則や様々な力がはたらく物体の運動がわかる。	
		運動の法則	○	○	○	○		
		摩擦力		○	○	○		
浮力		○	○		○			

3年現代文B_R4 シラバス

2 学 期	仕事とエネルギー	仕事	○	○		○	a: 仕事が力学的にどのような意味をもつかを理解し、仕事率を計算して、力学的エネルギーとはどのようなものか調べようとする。 b: 仕事・仕事の原理、仕事率に関して、計算式を利用し考察することができる。また、力学的エネルギー保存の法則を理解することができる。	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
		運動エネルギーと位置エネルギー		○	○	○	c: 運動エネルギーと位置エネルギーを調べる観察と実験を行い、そこから得られた結果を記録することができる。仕事との関係を分析することができる。 d: 仕事、仕事の原理、仕事率という基本的な概念から、力学的な仕事を計算する方法がわかる。物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することで、力学的エネルギーが一定に保たれることがわかる。	
		力学的エネルギーの保存		○	○	○		
	熱	熱と温度	○	○		○	a: 熱運動と物理量としての熱を理解し、熱エネルギーと仕事の変換について調べようとする。 b: 熱とエネルギーを関連づけて考えることができる。熱運動のエネルギーと仕事を関連づけ、エネルギー変換の熱機関への応用を考えることができる。	
		熱と仕事	○	○	○	○	c: 熱平衡の温度を測定し、熱量の保存されることを調べる。 d: 熱と温度とは何であるかを理解し、熱による物質の変化がわかる。エネルギーの保存と変換、熱の移動による不可逆変化がわかる。	
		熱効率と不可逆変化		○		○		

3 学期	波	波の伝わり方	○	○	○	<p>a:波とは何か、振動数や位相の違いによって媒質をどのように伝わるかに興味をもち、縦波と横波の違いを調べようとする。</p> <p>b:振動数や位相について説明することができる。媒質の振動と関連づけて考えることができる。波の性質を理解し、波がエネルギーと情報を運ぶことについて考えることができる。</p> <p>c:波の性質を調べる観察と実験を行い、そこから得られた結果を記録することができる。また、共鳴・共振やうなりといった音の性質を調べ表すことができる。</p> <p>d:波の性質と媒質の端の違いによる反射波の性質を理解する。音波と音の三要素などの性質と、可聴音や超音波についてわかる。弦の振動と気柱の振動などを通して、共鳴・共振のような現象が起こる原理がわかる。</p>	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査	
		波の重ね合わせ		○	○			
		波の反射		○	○			○
		音の伝わり方		○	○			○
	電気	動かない電気、動く電気	○	○	○	<p>a:電気に関わる法則に興味をもち、静電気の原理や、導体・絶縁体・半導体のそれぞれの性質について調べようとする。</p> <p>b:静電気と電子を関連づけ、電荷と電気量について考えることができる。導体、半導体、絶縁体について説明することができる。電流と磁力を関連づけ、電磁誘導による発電機の原理を理解し、考えることができる。電流の種類と、電磁波が周波数によって様々な呼び分けられていることについて考えることができる。</p> <p>c:電流と電圧の変化をオームの法則に照らして調べ、表すことができる。交流を整流に変換する装置の原理を理解し、発電機によって発生する電流の種類を調べ、表わすことができる。</p> <p>d:静電気と電子、電荷と電気量についてわかる。導体、絶縁体、半導体と、半導体を応用した技術についてわかる。オームの法則と様々な抵抗の接続や合成抵抗、電流の熱作用との関係についてわかる。磁気と電流の種類を確認し、交流を整流に変換するしくみがわかる。電磁波の種類と性質を確認し、それぞれの利用について理解している。</p>		
		電流と電気抵抗		○	○			○
		交流と電磁波		○	○			○

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度
c:観察・実験の技能

b:思考・判断・表現
d:知識・理解

3年現代文 B_R4 シラバス

- ※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和4年度 理科

教科	理科	科目	生物	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂版「生物」 (数研出版)						
副教材等	改訂版 生物 学習ノート (数研出版編集部 編)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」。小・中学校での理科や生物基礎の学習を終えて、神秘的な生命とそれが織りなす自然について分子レベルまで掘り下げ、「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という3つの視点を忘れず、どのように生き、行動すれば人と自然を大切に、健康な生活を送れるのか? この2つの問題を常に意識して、より深く学び考え続けてください。

2 学習の到達目標

生物や生物現象に対する探求心を高め、目標意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

多様な生物も細胞からなり、遺伝子としてDNAを用い、エネルギーの受け渡しにATPを使うという共通性をもつことを理解する。そして、人が健康に生きるには個々の細胞の働きによって内部環境が一定に保たれることが重要であることや、地球上の多様な生物は気温や降水量等と密接な関係を持つ生態系を構成し物質循環とエネルギーの移動によってつながっていることに気付くことで、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度と、持続可能な社会づくりに貢献できる力を身に付ける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得した上で、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し上で、分子レベルまでとらえられる知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

3年現代文 B_R4 シラバス

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する物質 ・タンパク質の構造と性質 ・酵素のはたらき 	○			○	a:生命現象を支える物質について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:生命現象を支える物質が代謝を行う仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c:生命現象と物質に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、その過程や結果を的確に記録、整理して、生物学的に探究する能力を高める。 d:代謝について分子レベルまでとらえて理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の構造 ・物質輸送とタンパク質 ・遺伝情報・認識とタンパク質 		○	○	○		
	代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝とエネルギー ・呼吸と発酵 ・光合成 ・窒素同化 		○	○	○		
	遺伝情報の発現	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの構造と複製 	○			○		
<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報の発現 			○	○	○			
<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の発現調節 			○	○	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・バイオテクノロジー 	○		○	○	a:遺伝子の構造やその発現調節について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b: 遺伝情報の変化やバイオテクノロジーの中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 遺伝子のはたらきについて観察、実験などを通して探究し、学習内容の理解を深めるとともに、その過程や結果を的確に記録、整理して、生物学的に探究する能力を高める。 d:遺伝子の構造や発現調節、その応用方法を理解し、知識を身に付けている。	
2学期	生殖と発生	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子と染色体 ・減数分裂と遺伝情報の分配 ・遺伝子の多様な組み合わせ 	○			○	a:生命の神秘である生殖と発生について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:生殖と発生のしくみを考察し、導き出した考えを表現している。 c:生殖と発生について観察、実験などを	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート

3年現代文 B_R4 シラバス

	<ul style="list-style-type: none"> 動物の配偶子形成と受精 初期発生過程 細胞の分化と形態形成 植物の配偶子形成と発生 		○	○	○	<p>通して探究し、学習内容の理解を深めるとともに、その過程や結果を的確に記録、整理して、生物学的に探究する能力を高める。</p> <p>d:動物と植物の配偶子形成から形態形成までのしくみを理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>観察・実験 定期考査</p>
	<p>動物の反応と行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ニューロンとその興奮 刺激の受容 情報の統合 刺激への反応 動物の行動 	○		○	○	<p>a:環境の変化に生物が反応していることについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする。</p> <p>b:環境応答のしくみを考察し、導き出した考えを表現している。</p> <p>c:環境応答について観察、実験などを通して探究し、学習内容の理解を深めるとともに、その過程や結果を的確に記録、整理して、生物学的に探究する能力を高める。</p> <p>d:生物個体が外界の変化を感知し、それに反応するしくみを理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査</p>
	<p>植物の環境応答</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物の生活と環境応答 発芽の調節 成長の調節 環境の変化に対する応答 花芽形成・結実の調節 	○	○	○	○	<p>a:生物の個体群と群集および生態系について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。</p> <p>b:生態系のバランスや生物多様性の重要性について考察し、導き出した考えを表現している。</p> <p>c:生態と環境に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、その過程や結果を的確に記録、整理して、生物学的に探究する能力を高める。</p> <p>d:生態系のバランスや生物多様性の重要性を理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査</p>
	<p>生物群集と生態系</p> <ul style="list-style-type: none"> 個体群 個体群内の個体間の関係 異種個体軍の関係 生物群集 生態系における物質生産 生態系と生物多様性 	○	○	○	○	<p>a:生物の進化の過程とそのしくみについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする。</p> <p>b:生物の進化の過程とそのしくみについて考察し、導き出した考えを表現している。</p> <p>c:生物の進化と系統に関する探究活動</p>	<p>学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験</p>
3学期	<p>生命の起源と進化</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命の起源と初期の生物の変遷 多細胞生物の変遷 進化のしくみ 	○	○		○	<p>a:生物の進化の過程とそのしくみについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする。</p> <p>b:生物の進化の過程とそのしくみについて考察し、導き出した考えを表現している。</p> <p>c:生物の進化と系統に関する探究活動</p>	<p>学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験</p>

3年現代文 B_R4 シラバス

	生物の系統	・生物の系統 ・生物の多様性		○	○	○	を行い、学習内容の理解を深めるとともに、その過程や結果を的確に記録、整理して、生物学的に探究する能力を高める。 d:生物界の多様性と系統を理解し、進化についての考え方を身に付けている。	定期考査
--	-------	-------------------	--	---	---	---	---	------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号

3001

令和4年度 理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂版 新編「生物基礎」 (数研出版)						
副教材等	改訂版 生物基礎 学習ノート (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「生物基礎」では、生物に共通する点、異なる点を考えることから、まず学習を始めます。生物に共通する点として、細胞でできている、DNAを持っている、エネルギーの受け渡しでATPをもちいることがあります。初めは、慣れない専門用語が多く出てきますが、少しずつ学習を進めることで、生命への理解が深まると思います。学習方法としては、教科書をよく読み活用しましょう。

2 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高める。また、関連する農業の科目と知識がつながるように、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。
- ・生物と遺伝子についての正しい理解に基づいた生物の共通性や多様性の視点を身につけさせる。
- ・生物の体内環境の維持と健康についてその仕組みを理解させる。
- ・生物の多様性と生態系について学び、生態系の保全について認識させる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・事象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとする。また、科学的態度を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について基本的な概念を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験のレポート 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験のレポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の特徴	生物の多様性と共通性	○	○			a: 様々なレベルでの生物の多様性を理解して共通性との関連を考えようとしているか。 b: 生物のもつ共通性と多様性生物の進化に基づくことを理解している。 c: 目的とする観察対象と明確に観察できるか。 d: 整理問題を答えることができるか。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査
		エネルギーと代謝	○	○	○	○	a: 物質のレベルで起こっている現象を具体的なイメージを持って理解・把握しようとしているか。 b: 酵素の働きと生体内の化学反応の調節の関係を理解しているか。ATP はすべての生物が利用するエネルギー物質であるという生命の共通性の意味について理解しているか。 c: 1日の消費エネルギーが算出できるか。 d: 整理問題を答えることができるか。	

3年現代文 B_R4 シラバス

		光合成と呼吸	○	○	○		<p>a: 生命活動の単位となる細胞でのエネルギーを扱うミトコンドリアと葉緑体のはたらきについて知ろうとしているか。</p> <p>b: ミトコンドリアと葉緑体で行われていることと、生命活動のエネルギーとの結びつきを理解しているか。</p> <p>c: 植物細胞に含まれる葉緑体の形態を観察できるか。</p> <p>d: 整理問題を答えることができるか。</p>	
2学期	遺伝子とその働き	遺伝情報と DNA	○	○	○	○	<p>a: 遺伝子の本体として機能する DNA とはどのような構造的特徴をもつ物質であるかということについて興味関心があるか。</p> <p>b: 塩基配列に遺伝情報があるという結論を導くことができるか。</p> <p>c: DNA の抽出作業ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	<p>学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査の結果 実験レポート</p>
		遺伝情報の発現		○	○	○	<p>a: 転写・翻訳という遺伝子発現の過程に興味関心を示したか。</p> <p>b: タンパク質と DNA の関係を科学的に考察し、その関係を的確に表現することができるか。</p> <p>c: だ腺染色体のプレパラートの観察ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	

3年現代文 B_R4 シラバス

		遺伝情報の分配	○	○		○	<p>a: 遺伝情報の分配と分化した細胞での遺伝子の働きについて意欲的に理解しようとしたか。</p> <p>b: 体細胞分裂と DNA 量の変化を説明できるか。パフの存在を遺伝子の発現と関連付けられるか。</p> <p>c: 実験操作が理解できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
生物の体内環境とその維持		体液という環境	○	○		○	<p>a: 体内環境について理解し、その恒常性について具体的にとらえられているか。</p> <p>b: 体液の種類とそのはたらきを理解し、その循環経路や血液細胞についての内容が正しく説明できるか。</p> <p>c: 凝固反応の実験の過程を理解している。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査
		腎臓と肝臓	○	○	○	○	<p>a: 体内環境の違いに関わらず、体液の塩分濃度や水分量が一定に保たれていることに気付き、その著説のしくみや肝臓腎臓の機能について興味を持って学習したか。</p> <p>b: 肝臓と腎臓の機能を説明でき、尿の生成過程については数量的な扱いができる。</p> <p>c: ゴウリムシの収縮胞の観察</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	

3年現代文 B_R4 シラバス

		神経とホルモンによる調節	○	○		○	<p>a: 脊椎動物の恒常性の維持に、神経とホルモンが関与している意味を理解しようとする態度が見られるか。</p> <p>b: 神経性調節とホルモン性調節の共通点と相違点をとらえ、前者の拮抗作用、後者のフィードバック調節について説明できるか。</p> <p>c: 心拍の運動前後の比較。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
		免疫	○	○		○	<p>a: 体を守る生体防御のしくみについて探究心を持って授業に参加し、様々な免疫機構について理解しようとしているか。</p> <p>b: 自然免疫と獲得免疫について、獲得免疫のうち体液性免疫と細胞性免疫についてその機構の共通性・相違点について説明できるか。二次応答などの感染症を防ぐしくみや、エイズなどの免疫の異常で起こる疾病について具体的に説明できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
3学期	植生の多様性と分布	植生とその成り立ち	○	○			<p>a: 優占種や相観の観点から植生を分類することができるか。また、森林では階層構造が成立することに興味や関心を持っているか。</p> <p>b: 植生の特徴を優占種と相観によって大まかにとらえることができるか。森林の階層構造を垂直方向の環境条件の変化と関連して考察することができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	<p>学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査</p>

3年現代文 B_R4 シラバス

		植生の移り変わり	○	○		○	<p>a: 植生遷移について興味関心を示したか。</p> <p>b: 気温と降水量という要因がそれぞれのバイオームの成立にどのように関連しているかを表現することができるか。</p> <p>c: データ処理ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
		気候とバイオーム	○	○		○	<p>a: 植生と環境とのかかわりに関心を持っているか。</p> <p>b: 調査・測定によって得られたデータから、どのような原因でそのような植生になっているか判断できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
	生態系とその保全	生態系とその成り立ち	○	○			<p>a: 生態系の定義、また、その保全に対して基本的知識を身につけ、興味関心があるか。</p> <p>b: 生態系の中で、生物同士の関係について理解でき、表現できるかどうか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	<p>学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査</p>
		物質の循環とエネルギー	○	○			<p>a: 生態系の中の食う-食われるの関係を通して、物質やエネルギーがどのように移動していくかについて、学習しようとする意欲が見られるか。</p> <p>b: 窒素、炭素の循環の中で、生物間の物質移動とともに、エネルギーの一部も移動していること、及び物質とエネルギーの移動の違いがあることを判断し、説明表現ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	

3年現代文 B_R4 シラバス

		生態系のバランスと保全	○	○	○	<p>a: 生態系のバランスについて関心を持っているか。地球環境の問題に関心を持っているか。</p> <p>b: 無機的環境と生物間の複雑な関係によって、生態系のバランスが保たれていることを理解し、人類の活動がそれに大きな影響を与えること具体的に説明でき、生態系のバランスを維持するために、人類としてあるいは個人としてできることを考え表現できるか。</p> <p>c: 外来種についてのレポートが作成できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
--	--	-------------	---	---	---	--	--

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	3001
------	------

1 枚のうちの 1

令和4年度「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
英語	実用英語	3年	2	会話教材未定・リスニング教材

到達目標	社会に出て、積極的に英語でコミュニケーションを取ることができ、またある程度英語を聞き取ったり、読んだり、書いたりできる能力を身につけることを目標とする。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	ICT機器及びA L Tを十分活用する。4技能の中でも、特にスピーキングとリスニングに重点を置くが、英検3級程度のリーディング、ライティングにも取り組む。毎回、ペアワーク、スピーチ、ディベートなどの言語活動を行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	Unit1,2	自己紹介・自分の好きなことが言える	授業態度および出席	語彙力 毎回の言語活動に積極的に参加しているか。
5月	Unit3,4	相手に質問ができる。質問に		
6月	Unit5,6	答える	リスニングテスト	英語でプレゼンテーションができるか
7月	Unit7		プレゼンテーション	授業中の活動内容 毎回のリスニングテストの成績
8月				
9月	Unit8,9	英語で買い物、レストランの注文ができる。	英作文	定期考査 学習意欲
10月	Unit10,11	困っている人に話しかけて助けてあげる。		
11月	Unit12,13	日本の文化を紹介できる。道案内ができる	観点別評価をおこなう。	提出物
12月	Unit14			
1月	Unit15	1年間のまとめ。	言語活動を行う	
2月				
3月				

学校番号

3001

1 枚のうちの 1

令和4年度「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
英語	英語演習	3年	2	アトラス総合英語 English Grammar Compass in 23 Lessons// 長文読解問題集

到達目標	英文法の基本を理解し、4技能の基盤づくりを行う。また、長文に慣れさせ、調べながら自分で英文を読み進める力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	4技能の前提となる基本的な語彙力を養うため、毎回単語・熟語テストを行い定着を図る。また、文法項目を意識した正確なリーディングをするように指導する。さらに、リスニング問題の解き方や既習文法を使った英作等も指導する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	Unit1,2	動詞の時制・完了	単語・熟語テスト	語彙力
5月	Unit3,4	助動詞・受動態		
6月	Unit5,6	不定詞・動名詞	授業態度	長文・文法・リスニング問題の理解度
7月	Unit7	分詞		
8月			確認テスト	授業中の発言内容
9月	Unit8,9	関係詞	テキストのチェック	テキストの問題をきちんと解いて間違い直しもできているか
10月	Unit10,11	比較・さまざまな文型	英作文	英作文の正確さと英文の構成力
11月	Unit12,13	間接疑問・接続詞		
12月	Unit14	代名詞		
1月	Unit15	前置詞	観点別評価をおこなう。	学習意欲
2月			言語活動を行う	
3月				

学校番号

3001

1枚のうちの1

令和4年度「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	単位数	指導学年	教材名	副教材名等
外国語	英語総合	3	3年	未定 (長文等を含む総合問題集)	なし

到達目標	全ての生徒が、必要な英語力と態度を身につけて、さまざまな場面で自分の考えを相手に明確に伝えられるようになること、また、生涯にわたり学び続ける力を獲得すること。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	次に示す授業実践において、ICT機器及びALTを十分活用する。また、家庭学習の充実をめざす。 ・時事問題を英語で読み、関心を持つ。リスニングの力をつける ・テキストを、スキミング、スキミング等のスキルで、その概要を速く読む、また、正確に聞きとるためのトレーニングをする。 ・クラス単位の授業だが、なるべく多くの生徒が発表・音読等できるようにする ・場面に応じてのダイアログ、スピーチ、プレゼンテーションができるようになる

月	単元	指導内容 (場面、文法事項)	評価方法	評価のポイント
4	01 Sports	スポーツについて	未来不定詞	<p>観点別評価を実施し、その評価の観点は次の通りとする：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ・外国語表現の能力 ・外国語理解の能力 ・言語文化についての知識・理解 <p>言語活動を多用し、適切なパフォーマンス評価をする。</p> <p>学期成績に関する評価の具体的方法例は次を基本とする：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・ワークシート ・生徒間のコンペ ・発表 (原稿) の評価 ・スキルのテスト ・クイズ (小テスト) ・定期考査 ・その他 <p>成績算出 (100点法) に関しては以下の通り：</p>
5	02 Health 03 Culture	スマホ老眼 夏目漱石	現在形 過去形	
6	04 Food 05 Transportation	リスニング 北陸新幹線	should There is～ will	
7				
8				
9	06 Life 07 History	暮らしの手帳 徳川家康	動名詞	
10	08 Country 09 Sightseeing	ネパール 日本の名所など リスニング	現在完了形	
11	10 Science	マジックウォーター	SV00	
12	11 Anniversary	ウルトラマンを通して	How long? 現在進行形 SV0C	

3年現代文 B_R4 シラバス

1	Story	シェイクスピア	不定詞（形容詞用法） Let's. Shall we?	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み:説明への傾注、発問への反応、タスクの取組、質問、他 ・課題：提出状況、内容、他 ・クイズ：リスニングテスト、スピーキングテスト、音読テスト、他 ・出席状況 	きる。 ・家庭学習が充実している。
2	教材が未定のため変更あり				
3					

学校番号

3001

令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	3年次女子
使用教科書							
副教材等	最新スポーツルール 2019 (大修館出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・上手下手、得意不得意関係なく精いっぱい体を動かそう。
- ・最終学年として、リーダーを中心としてサポートしあい自主的に授業ができるようにしよう。

2 学習の到達目標

- ・生涯において運動を習慣化できるように、興味付け、知識をつけさせる。
- ・自分たちで授業が進められるようになる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任などの態度を身に付ける。	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をすることができる。	記録や技能向上に挑戦する。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
評 価 方 法	授業態度の観察	授業態度の観察	技能観察	授業態度の観察 体育理論のテスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

3年現代文B_R4 シラバス

1学期	バドミントン	シングルス ダブルス	○	○	○	○	a:安全を確保して学習に自主的に取り組みようとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種打ち方をマスターしている。 d:ルールを理解し、ゲームが出来る。	授業態度・ 技能観察
	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳	○	○	○	○	a:安全を確保して、積極的に取り組みようとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。	授業態度・ 技能観察
	スポーツテスト		○	○	○	○	a:安全に留意し、協力して取り組みようとしている。 b:昨年度より高い記録を狙おうとしている。 c:効率的な運動方法を身につけている。 d:基本的な運動の重要性を理解している。	授業態度・ 技能観察
2学期	卓球	ダブルス	○	○	○	○	a:安全を確保して、協力的に取り組みようとしている。 b:ペアとしての取り組み方を工夫している。 c:対戦相手をスカウティングすることにより、戦略をたてる。 d:球の回転の特性を理解している。	授業態度・ 技能観察
	ラクロス	基本技術 ミニゲーム	○	○	○	○	a:安全を確保して、自主的に取り組みようとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:種目特有の技能を身につける。 d:ルールを理解している。	授業態度・ 技能観察
3学期	選択	卓球 バスケットボール ドッジボール	○	○	○	○	a:安全に楽しんで各種目行える。 b:グループでの自分の役割を理解し、行動できている。 c:各種目において戦略をたてることができる。 d:ルールを理解している。	授業態度の 観察

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度

b:思考・判断

c:運動の技能

d:知識・理解

- ※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号	3001
------	------

令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	3年次男子
使用教科書							
副教材等	最新スポーツルール 2019 (大修館出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の中で、上手下手、得意不得意関係なく精いっぱい体を動かそう。 ・最終学年として、リーダーを中心として、サポートしあい、楽しく自主的に授業を行えるようにしよう。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯において運動を習慣化するように興味付けをして、運動の知識を得る。 ・グループ活動を中心として行い、自分たちで授業が行えるようにする。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 公正・協力・責任などの態度を身に付ける。	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をすることができる。	記録向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
評 価 方 法	授業態度の観察	授業態度の観察	技能観察	授業態度の観察 体育理論テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評 価 方 法
			a	b	c	d		

3年現代文B_R4 シラバス

1学期	卓球	・ダブルス	○	○	○	○	a:安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:ペアとしてのスムーズなローテーションができる。 d:ペアの特長を活かした攻防ができる。	授業態度・技能の観察
	スポーツテスト		○	○	○	○	a:安全を確保して、協力して取り組もうとしている。 b:記録を上げるための取り組み方を工夫している。 c:昨年度より高い記録を出す。 d:体のパーツを連動させる知識を得る。	授業態度・技能観察
2学期	水泳	個人メドレー	○	○	○	○	a:安全を確保して、積極的に取り組もうとしている。 b:記録を上げるための取り組み方を工夫している。 c:3年間の総決算としてやりきる。 d:細かい手足の動作を理解している。	授業態度・技能観察
	バスケットボール	5対5 ゲーム	○	○	○	○	a:安全を確保して、協力的に取り組もうとしている。 b:チームの特徴を考慮し、戦略をたてることができる。 c:チームが勝てるような技能を身につける。 d:ルール・戦術を理解している。	授業態度・技能観察
	サッカー	11対11 ゲーム	○	○	○	○	a:安全を確保して、協力的に取り組もうとしている。 b:チームの特徴を考慮し、戦略をたてることができる。 c:チームが勝てるような技能を見につける。 d:ルール・戦術を理解している。	授業態度・技能観察
3学期	選択	サッカー バスケットボール 卓球	○	○	○	○	a:各種目において安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:各種目を楽しく実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目特有の技能を発揮できる。 d:ルール・戦術を理解している。	授業態度の観察

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度
c:運動の技能

b:思考・判断
d:知識・理解

3年現代文 B_R4 シラバス

- ※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和4年度 工芸科

教科	芸術	科目	工芸 I	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	工芸 1 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

作るということとはとても楽しいことです。種々の材料や道具を駆使して生活に役立つモノ作りに取り組みましょう。

1学期…木彫を中心に。家で使用するもの。

2学期…「あかり」の制作。校内で利用できる案内板、表示板の制作。

3学期…造形三科展の開催。

正しく道具を使い、いいモノを作りましょう。

2 学習の到達目標

ものづくりを通じ、その加工法、制作するものの美的要素、構造、制作手順など実習を通して学習し、工芸を愛好する気持ちや豊かな感性を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:工芸への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	工芸の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な工芸の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	工芸作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	工芸ってなんだろう	【観賞】 ・オリエンテーション 教科書を観賞し、多様な表現形式について学び、「工芸 I」の学習イメージを持つ。	○	○			a: 工芸の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b: 工芸作品などのよさや美しさを感じ取り、工芸の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	ハンコをつくる	・消しゴムはんこ 木彫の準備段階として彫刻刀の使い方を学ぶ。	○	○	○		a: ハンコの図柄の表現に関心を持ち、制作に積極的に取り組もうとしている。 b: 与えられた条件を生かし、文字にこだわらない自分らしさの追及に取り組む。 c: 道具の使い方を正確に行えるよう努力をし、彫りによる表現を生かしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	木彫を学ぶ	【木彫】 ・表札の制作 材料: はがき大の桂材 自身の部屋や場所を示す表札を作る。	○	○	○		a: 扱う素材によって異なる技法や表現方法に関心を持ち、制作に主体的に取り組もうとしている。 b: 条件と制約を考慮し、自分の表現をとりいれ、制作に取り組む。 c: 彫刻刀という道具の特性を生かし、彫りによる表現を生かしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
二学期	あかりをつくる	【ライティングデザイン】 ・材料は竹ひごと和紙。 高さを最低 1mと設定し、強度を踏まえたかたち作りを考える。	○	○	○		a: 素材の特徴を理解し、特性を生かした制作法の表現に主体的に取り組もうとしている。 b: その特徴を生かした条件や美しさ、形などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 制作物の構造を理解した上での、表現方法を行っている。	学習活動の様子 制作の様子 作品

3年現代文 B_R4 シラバス

	案内板、表示板の制作	【サイン】 ・公共の場でのサインを考える。 公共性と自身の美意識との接点を探り、実際に校内で使用することを前提に制作する。 材料の選択とそれに合った制作工程や技法の確認。	○	○	○		a:生活や社会を心豊かにする工芸の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:使用する場所と形態の関係を踏まえたデザインを考え制作する。 c:よりよい素材を考え、表現に活かしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
--	------------	--	---	---	---	--	--	--------------------------------

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
三学期	造形三科展にむけて	【鑑賞】 ・出展作品の選択(複数可) ・出展作品の点検、補完。 ・ミニ展覧会の開催。 芸術選択の内、書道・美術・工芸の造形部門選択生徒の作品展。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート 活動の様子

※ 表中の観点について a: 工芸への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力
c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和4年度 書道科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	書 I (光村出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
- ・漢字の楷書と行書の基本的な書き方を身につけ、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
- ・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書によさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書によさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

3年現代文 B_R4 シラバス

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体・略式書体 「天」の字を使った書体の変遷 ・さまざまな篆書を使って書として表現された文字に興味を持つ 	○	○	○	○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字の書(楷書と行書の学習から作品制作へ)	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の基本的筆 ・古典臨書 ・自ら選んだ語句で漢字作品制作 ・相互鑑賞会 	○	○	○	○	a:楷書と行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書と行書の基本的な用筆方法を理解し、表現に工夫をしている。 c:各書体の船室や字形の取り方、用筆、運筆などの表現技法を身につけ、それぞれの書美を構成する諸要素を理解し、その特徴を生かした創造的な表現へ積極的に近づけている。 d:楷書と行書の代表的な古典を知り、その良さや美しさを味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の学習 ・自分の名前の篆書体を調べる。 ・名印制作 	○	○	○	○	a:篆刻に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:篆刻制作の手順を理解し選文・検字や布字・運刀に関する知識や技能を習得している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、その良さや、美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

3年現代文 B_R4 シラバス

一 学 期	漢字仮名 交じりの 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなの表現 ・漢字と仮名の調和 ・字形・文字の大きさと全体構成 ・自ら選んだ語句で漢字仮名交じりの書の作品制作 ・相互鑑賞会 	○	○	○	○	<p>a:漢字仮名交じりの書の検索に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。</p> <p>b:表現のねらいに対する技法上の工夫とその効果を的確に捉え、創作の構想に生かしている。</p> <p>c:古典学習を通して習得した書体、書風や紙面構成、用具・用材に関する知識・技能を適切に生かし、目ざすイメージを表現している。</p> <p>d:作品を互いに鑑賞することで、表現の工夫を捉えると共に、自分の表現への生かし方を考えている。</p>	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	生活の中 の書	<ul style="list-style-type: none"> ・封筒、ハガキの書き方 ・表書きの書き方 ・年賀状の書き方 ・ペン字 	○	○	○	○	<p>a:細字による漢字と仮名の美について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている</p> <p>b:漢字や仮名の学習で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。</p> <p>c:封筒、ハガキや表書き年賀状の書式を理解し基礎的な技能を生かして表現している。</p> <p>d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、その良さや美しさを味わっている。</p>	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
三 学 期	色紙作品 を作ろう 自分の作 品につい て語り他 人の作品 を味わお う (造形三 科展)	<ul style="list-style-type: none"> ・色紙作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による作品制作後 色紙への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会 ・造形三科展への出展 	○	○	○	○	<p>a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている</p> <p>b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。</p> <p>c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。</p> <p>d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p>	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度
c:創造的な書表現の技能

b:書表現の構想と工夫
d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

3年現代文 B_R4 シラバス

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号

3001

令和4年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高校生の美術2 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

この授業で学んでほしいことは、

- ・ものをよく見る観察力を養う。
- ・型に捉われず、自由に柔軟に発想する。

…大きくまとめると、この2点です。

高校卒業後も美術(ものづくり)が好きでいられるような授業にしたいと思っています。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 美術への関心・意欲・態度	b: 発想や構想の能力	c: 創造的な技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 鑑賞活動の様子 ワークシート	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人物クロッキー	【絵画・彫刻】 ・1分間人物クロッキー 毎回の授業開始時に行う。 サインペンを使用。	○	○	○		a: 友だちのクロッキーをすることに興味を持ち、すばやく形をとらえ、描写しようとしている。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、表現している。 c: クロッキーの目的を理解し、サインペンの特性を生かして表現している。	制作の様子 作品
	色を学ぶ	【デザイン】 ・色彩構成 アクリルガッシュを使用。 三原色を混色して色を作りそれらをまとめて新たな画面を作りだす。	○	○	○		a: 選んだ色の混色で、たくさん色を創っている。 b: 作った色の明暗を考え、それらを交互に配置し、新たな画面を作る。 c: 色の3属性を理解して、表現された画面を構成している。	制作の様子 製作途中の作品 作品
	静物画	【絵画・彫刻】 ・絵を描こう F8号の大きさ。 アクリルガッシュを使用。 ペインティングナイフを使って描く。 モチーフは観葉植物、ビン、レンガ、球など基本形態に近いものを準備。	○	○	○		a: 与えられたモチーフを表現することに関心を持ち、形や色の働きを考え、制作に取り組もうとしている。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c: アクリル絵の具や、ペインティングナイフという道具の特性を生かし、表現方法を工夫し表現している。	制作の様子 製作途中の作品 作品

	商店街の紙袋デザイン	<p>【デザイン】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面構成 <ul style="list-style-type: none"> 単純な2つの抽象形態の組み合わせから新しい形態を創造する。 25個の形態をバランス等を考えながら配置し、画面を構成する。 相互鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> 推奨作品をみんなで選ぶ。 	○	○	○	○	<p>a: 2版の重ね合わせから新しい形を創り出すことに興味を持ち、表現活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 偶然できあがった形や色彩の組み合わせを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>c: 25個の形態を1つのデザインとして表現している。</p> <p>d: 技法によるおもしろさ、表現の工夫などを感じとり、作品についての理解を深めている。</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p> <p>作品</p> <p>発言内容</p>
2学期	公募に応募	<p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公募ポスターへの応募 <p>アイデアスケッチ <ul style="list-style-type: none"> 選んだ公募内容や、テーマに合ったデザインを各自で考える。 </p> <p>制作 <ul style="list-style-type: none"> アクリル絵の具やクレヨン、その他必要な素材等を用いて、制作を行う。 </p>	○	○	○	○	<p>a: ポスターデザインの目的や条件などを考えて表現することに関心を持ち、テーマの表現に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 選んだテーマの目的から主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>c: 目的や意図に応じた表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p> <p>製作途中の作品</p> <p>制作の様子</p> <p>作品</p>
	針金で生き物を作ろう	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> スケッチ <ul style="list-style-type: none"> 動物を様々な角度から観察する。 ラジオペンチの使い方を学ぶ。 針金の特性を生かし、生き物の特徴的な形を表現する。 相互鑑賞し、全作品をモデルとして鑑賞する。 	○	○	○	○	<p>a: 生き物の特徴的な形を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 用具や素材の特性を生かし、表現方法を工夫している。</p> <p>d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。</p>	<p>制作の様子</p> <p>制作の様子</p> <p>作品</p> <p>発言内容</p>

3年現代文 B_R4 シラバス

	ボックスアート	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語からシーンを選ぶ。 <p>200×200×20mm の大きさのボックスを使用。</p> <p>アクリルガッシュ、紙粘土、包装紙、色紙等素材は問わない。</p>	○		○	<p>a: 物語の表現に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 物語の内容を表すシーンの表現の構想を練っている。</p> <p>c: 用具や素材の特性を生かし、表現方法を工夫している。</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>作品</p>
3学期	造形三科展にむけて	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展作品の選択(複数可) ・出展作品の点検、補完。 ・ミニ展覧会の開催。 <p>芸術選択の内、書道・美術・工芸の造形部門選択生徒の作品展。</p>	○		○	<p>a: 美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。</p> <p>d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。</p>	<p>ワークシート</p> <p>活動の様子</p>

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力
 c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和4年度 音楽科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	音楽 I 改訂版 Tutti (教育出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」の分野を年間通して学習します。
- ・学習の到達度は、実技テストで評価します。
- ・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみても価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察	観察	演奏の聴取	観察
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	日本語の美しい語感を 生かして表現しよう！	【歌唱】 校歌 翼をください ふるさと 心の瞳 (斉唱) 【鑑賞】 教材のCDを聞き 歌い方や表現を 参考にし、表現の 創意工夫する 雅楽等の鑑賞に より伝統的な技法 も学ぶ。	○	○	○	○	a: 歌う喜びを味わい、イメージをもつてのびのびとした歌唱法で歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、歌詞を大切に言葉を明確に表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: 歌唱するにあたっての譜面の読み方の確認と歌詞の理解。	観察 演奏の聴取
	メロディーを美しく 正確に表現しよう	【器楽】 アルトリコーダー の学習	○	○	○	a: アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取	
二学期	く旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 サンタルチア オーソレミオ 【鑑賞】 教材のCDを聞き 歌い方や表現を 参考にし、表現の 創意工夫する	○	○	○	○	a: イタリア語の歌詞を学習しイタリア語の発音を身に付けているか。 b: イタリア語のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、イタリア語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 d: 歌唱するにあたっての譜面の読み方の確認と歌詞の理解。	観察 演奏の聴取

3年現代文 B_R4 シラバス

	ギターに挑戦!	【器楽】 クラシックギターの基本的な奏法を学ぶ	○	○	○	a: ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律とギターの奏法が伴って曲の雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c: ギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取
三学期	リコーダーアンサンブルとギターアンサンブルを楽しもう	【器楽】 威風堂々 リコーダー小曲集 ギター小曲集	○	○	○	a: アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: アンサンブルの美しさを表現するための工夫をし、楽しさを感じようと積極的に演奏している。	観察 演奏の聴取

- ※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号

3001

令和4年度 家庭科

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	フードデザイン（実教出版）						
副教材等	—						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、2年生家庭基礎で学んだ食分野の学習“食べることは生きること”や保育分野の学習“いのちを育む”を踏まえ、食への理解を深めていきます。実習を中心に、調理の技術や知識を体験的に身に付け、またその食材、料理へ込められた思いなど食育の観点も盛り込みながら、実生活に活かせる実践力を高めていきます。毎回メンバーが異なる班での調理実習や異年齢との食育交流授業など、コミュニケーションを図りながら、体験から多くの気づきを得てもらいたいと思います。そのためにもより積極的に取り組んでください。食卓の大切さも共に考えながら、一緒に楽しんで学びましょう。

2 学習の到達目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	食に関心を持ち、意欲的に実習に取り組み、家庭や地域における食生活の充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	よりよい食生活を営むために、自ら考え、思考を深め、創意工夫し、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。	食に関する各分野の基礎的・基本的な技術を身に付けている。	食に関する各分野の基礎的・基本的な事項を理解し、知識を身に付けている。

3年現代文 B_R4 シラバス

評価方法	ワークシート 実践課題 自己評価 取組態度（授業観察）	ワークシート 課題レポート 実践課題 取組態度（授業観察） （定期考査）	実技テスト 実践課題 生徒同士による相互 評価	ワークシート 課題レポート （定期考査）
	<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

3年現代文 B_R4 シラバス

1 学 期	<p>○ オリエンテーション</p> <p>○ 食生活の充実向上 / 基礎・基本</p>	<p>・フードデザインを学ぶにあたって</p> <p>*家庭基礎で学習した内容を踏まえながらさらに深めていく</p> <p>・食を取り巻く現状</p> <p>・食事の意義と役割</p> <p>*食事が栄養を摂取するためだけではなく、さまざまな意味をもつことを理解し、食事と団らん、心を育む食卓の重要性を考える</p> <p><地域連携 保育園児との食育交流授業></p> <p>・調理の基礎、基本： <日常食の献立と調理実習></p> <p>「和食を中心とした一汁三菜(二菜)、ほんまもんのだし味覚体験、環境を考えたエコ・クッキング等」</p>	○	○	○	○	<p>文科省食に関する指導の手引より</p> <p>〈食育の視点〉</p> <p>食事の重要性 / 心身の健康</p> <p>食品選択能力 / 感謝の心</p> <p>社会性 / 食文化</p> <p>a: 意欲的に実習に取り組み、実生活で活かそうとする実践的な態度を身に付けている。</p> <p>b: 現代社会の食の問題と食事・食卓のもつ意義の理解を深め、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。</p> <p>c: 各分野において習得すべき基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>d: 各分野において習得すべき知識や重要な概念を身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>ワークシート及び課題レポート</p> <p>自己評価発表</p> <p>実践課題 実技テスト</p> <p>(定期考査)</p>
		<p><実生活にて実践></p> <p>・一品持ち寄り実習</p> <p>・弁当の日第1弾：栄養バランス等を考え、献立作成から買い物、調理、片付けをすべて自分で行う。</p>						
2 学 期		<p>・バランスのよい食事</p> <p>*健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理などの知識、技術をもとに、それぞれが生涯を見通した食生活への活用を図る</p>	○	○	○	○		

3年現代文 B_R4 シラバス

2 学 期	○ 食 生 活 の 充 実 向 上 / 応 用 ○ 食 育 推 進 活 動	<p>・調理の応用： <様々な献立と調理実習> 企画献立実習、個人実習 での魚の下ごしらえ、様 式別の配膳や食事マナー (テーブルマナー)、行事 食、ハレの日、クリスマス 献立等</p> <p><保育所や小学校・地域 と連携した食育活動実施 ></p>	○	○	○	○	<p>a：意欲的に実習に取り組み、 実生活で活かそうとする実践 的な態度を身に付けている。</p> <p>b：健康で安全な食生活を営む ために、実生活で活かすことが できる能力を身に付けている。</p> <p>c：各分野において習得すべき基 礎的・基本的な技能を身に付け ている。</p> <p>d：各分野において習得すべき知 識や重要な概念を身に付けて いる。</p>	<p>授業観察</p> <p>ワークシ ー ト及び課題 レポート</p> <p>自己評価</p> <p>実技テスト 実践課題</p> <p>(定期考査)</p>
		<p><実生活にて実践> ○弁当の日第2弾 ○食育実践 2weeks</p>						

3年現代文 B_R4 シラバス

3 学 期	○ 豊 か な 食 生 活 に 向 け て	・テーマを設定した献立 作成と楽しい食卓づくり *家族・友人などみんな で食卓を囲む(共食)の意 義を再確認し、実生活で の実践につなげる	○	○	○	○	a:意欲的に実習に取り組み、 実生活で活かそうとする実践 的な態度を身に付けている。 b:生涯を見通した食生活を営 むために、学習した知識を整理 し、自分の考えを深め、実生活 で活かすことができる能力を 身に付けている。 c:各分野において習得すべき基 礎的・基本的な技能を身に付け ている。 d:各分野において習得すべき知 識や重要な概念を身に付けて いる。	授業観察 ワークシ ー ト及び課題 レポート 実践課題
			*年間通しての調理実習のねらい みんなで食卓を囲み、おいしく楽しくいただく					

*年間を通して調理実習を行いながら、実践的・体験的に学びを深めていく。

※ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動においては、長期休暇や1学期及び2学期を中心に行う。

※表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和4年度 家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	—						
副教材等	—						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、ものづくりを通して、手芸に関する知識と技術を徹底して身に付けていきます。また、“より豊かな生活”を目指して、創造力や自分らしさを表現しながら、ものや環境を大切にする心を育みます。作品製作を進めるにあたっては、話をよく聞き、わからなければ指示を仰ぐ、作業を確認する、自分で考えて行動するなど、生活や社会で必要な実践力を養います。共にコミュニケーションをとりながら楽しんで取り組んでいきましょう。

2 学習の到達目標

手芸の種類、特徴及び各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸作品を創造的に製作し、修繕を含め実生活に活かせる能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	手芸に関心を持ち、作品製作に意欲的に取り組み、生活の充実向上を目指した実践的な態度を身に付けている。	各種手芸の技法を活用し、創造力を働かせながら作品製作に取り組み、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。	各種手芸に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	各種手芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート 課題レポート 自己評価 取組態度 (授業観察)	ワークシート 課題レポート 作品 取組態度 (授業観察)	実技テスト 実践課題 作品	ワークシート 課題レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	○ リエ ンテ ション ○ 手 芸 の 基 本 ○ ミ シ ン 縫 い	<p>・服飾手芸を学ぶにあたって</p> <p>○手芸の種類と各種手芸の技法</p> <p>○ミシン縫い習得 (留め具の付け方、正しい縫製の技術等)</p> <p>*エコ・バック (装飾アレンジ)</p> <p>*オリジナル巾着</p> <p>*帆布バック</p>	○	○	○	○	<p>a: 作品製作に意欲的に取り組み、生活の充実向上を目指した実践的な態度を身に付けている。</p> <p>b: 創造力を働かせながら作品製作に取り組み、実生活で活かすことができる能力を身に付けている。</p> <p>c: ミシン縫い、各作品の作り方、各種技法についての基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>d: ミシン縫い、各作品の作り方、各種技法についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>実技テスト</p> <p>ワークシート及び課題レポート</p> <p>自己評価</p> <p>作品提出</p> <p>実践課題</p>

3年現代文 B_R4 シラバス

2 学 期	○ 手 縫 い ○ 各 種 応 用	○手縫い習得 及び 各 種応用 *刺し子縫い *手縫いぬいぐるみ 及び 自由製作 (アレンジ) *ファスナーポーチ 2 種 *マスク製作等を持参 し、<地域連携 保育園児 との文化交流授業>	○	○	○	○	a: 作品製作に意欲的に取り 組み、生活の充実向上を目 指した実践的な態度を身に 付けている。 b: 創造力を働かせながら作 品製作に取り組み、実生活 で活かすことができる能力 を身に付けている。 c: 手縫い、各作品の作り方、 各種技法についての基礎 的・基本的な技能を身に付 けている。 d: 手縫い、各作品の作り 方、各種技法についての基 礎的・基本的な知識を身に 付けている。	授業観察 実技テス ト ワークシ ート及び 課題レポ ート 自己評価 作品提出	
<ul style="list-style-type: none"> ・生活の創造 (ものや環境負荷の少ない生活を考える) ・創意工夫 (創造力や自分らしさの表現) ・社会人基礎力 (作業の進め方、コミュニケーション力など) <p style="text-align: center;">*年間通して取り組んでいく</p>									
3 学 期	○ 応 用 活 用	*皮細工作品 及び自由製作 (アレンジ) ・ワークシート 及び課題レポート	○	○	○	○	a: 作品製作に意欲的に取り 組み、生活の充実向上を目 指した実践的な態度を身に 付けている。 b: 創造力を働かせながら作 品製作に取り組み、実生活 で活かすことができる能力 を身に付けている。 c: 手縫いの技法を応用した 皮細工についての基礎的・ 基本的な技能を身に付けて いる。 d: 手縫いの技法を応用し た皮細工についての基礎 的・基本的な知識を身に付 けている。	授業観察 ワークシ ート及び 課題レポ ート 自己評価 作品提出	

*年間を通して実習を行いながら実践的・体験的に学びを深めていく。

*ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動においては、長期休暇の夏休み、冬休みに行く。

※表中の観点について a:関心・意欲・態度

b:思考・判断・表現

c:技能

d:知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

